

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新豊田校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		法令で必要とされる配置数以上の職員配置になっています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		駐車場から事業所内まで段差フリーとなっています。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>			
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		PDCAサイクルを意識しながら、業務改善に取り組んでいます。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		毎年アンケートを実施し改善を図る努力を継続しています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページで公開するとともに療育室の入り口（保護者の待合スペース）に掲示しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	現在、実施しておりません。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		定期的に研修が行われている。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		計画期間ごとにアセスメントを取った上で個別支援計画を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		標準化されたアセスメントツールを使用しています。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインを基にして支援計画を作成しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	個別対応のため基本は指導員個人による立案となっています。	必要に応じて、事業所内会議などで立案、課題点などを積極的に議題に挙げていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日確認しています。	毎朝の朝礼時や事業所内会議などで、細かく情報共有したり、アドバイスを聞くなど、今まで以上に積極的に行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		主に、翌日に行っています。	
⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的モニタリングを行うのはもちろん、必要に応じて計画の見直しを行います	最低6か月に一度、計画の見直しを行っています	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		支援に携わる職員が会議に参画できるように調整をしていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			必要に応じて、保護者の承諾のもと実施しています。
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	該当者はいません。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	該当者はいません。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者の要望があれば、情報共有と相互理解が図れるようにしていきます。

	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者の要望があれば、情報共有と相互理解が図れるようにしていきます。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者の要望に応じて実施しました。	
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	実施していません。	
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	要請された公的な集まりに関しては可能な限り参加させていただいております。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了時に、保護者へのフィードバックの時間を設けています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている		○	個別の相談支援を実施しています。	ペアレントトレーニングができるよう職員の研鑽をつみたいと考えています。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時に提示し、支援内容の説明を行い、保護者から署名をいただいています。	
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に、支援後のフィードバックの時間に相談に応じております。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	実施していません。	
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		誠実な対応を常に心がけています。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		会報を作成し、ホームページにアップしています。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報に記載された書類は鍵付き書架に保管しています。ブログの記載については個人が特定されないよう内容面で配慮しています。	
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通・情報伝達等が円滑にできるように工夫しています。	

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	行事自体を実施しておりません。	
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者への周知を今後徹底していきたいと考えています。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	今後、ご利用者様にも実施が伝わるような訓練を行っていきます。	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している		○	確認しています。	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事・おやつの提供はしていません。	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	ヒヤリハット事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で共有します。	
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	マニュアルを策定し、研修に参加しています。	
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	重要事項説明書に記載しています。想定される利用者さんがおられる場合は、事前に説明します。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新豊田校

保護者等数（児童数）：9 回収数：4 割合：44%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	3	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	1		1	子どもの特性によって接し方が変わるはずなので、個々の特性・苦手・課題を発達センターと共有の上、一貫した指導を行ってほしい。	より専門性の高い、質の良い療育を目指して、職員の研修を進めています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2	1		1		各療育スペースに応じて、適切な環境整備に努めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	4					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1				
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2	1		1	担当が変わってから内容がほぼ変わっていないので、新しいプログラムも時々入れてほしい。	子どもが飽きることなく、興味を持てるような学習内容を提示していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2	1	個別なので必要ない。	現在のところ、行っていませんが、ご要望があれば、検討していきます。
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3			1		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	4					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1		2	1		ご要望に応じて、適宜行っております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか		2	1	1		感染症対策をしながら、面談等行っています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		1	1	2	必要性を感じない。	現在、父母の会など行っていませんが、ご要望があれば検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3				1	事業所内相談支援、家庭連携などの相談活動を行っています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3	1				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			1	1	定期的にホームページや会報を発信していますので、是非ご活用ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3				1	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか		1	1	2		訓練の様子の一層の周知をはかるように努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		1	1	2		月に1度、職員の訓練を行っています。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3	1				より専門性や、質の高い療育を目指して、職員の研修を進めています。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。